

科目名称	基礎看護学実習 (対象の理解)
授業コード	BK000
英語名称	
学期	2024年度前期
単位	1.0
担当教員	大出 順, 園山 真由美, 大森 美保, 石田 清美, 角田 知穂, 辻 由紀
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	【実習目的】 入院生活を送る看護の対象とのかかわりや看護師が行う援助場面から、その場の共有やコミュニケーションを通して、対象の療養生活について理解を深める。また、看護活動の実際を学び、看護への理解を深める。
科目に関連する実務経験と授業への活用	・看護師として臨床経験のある教員が全て担当する。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・この科目は、専門科目の「看護の実践」の科目の一つである。 ・カリキュラム・ポリシーに掲げる「多様な健康レベルや生活状況を考慮し、人間関係を形成しながら看護実践を学ぶために臨地実習科目を配置する」の実現と、ディプロマ・ポリシーに掲げる「対象者の様々な権利や人権を尊重し、看護専門職として倫理的な行動がとれる」「対象者に最善の支援ができるように、保健・医療・福祉システムの中で、人々と協働する能力を有している」ことが実現できるよう、以下を実習目標とする。 【実習目標】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 病院見学を通して、病院の機能・役割を知る。 2. 対象の療養生活について理解する。 3. 対象との人間関係を形成するためのコミュニケーションについて考える。 4. 対象の反応や会話の中から情報を得て、対象の考え・思いを理解する。 5. 対象の安全・安楽・自立(自律)を踏まえ、個性性に配慮した看護援助の実際について考える。 6. 看護援助場面の見学および参加を通して、看護の役割や機能について考える。
計画・内容	<p>1)実習期間 1クール目： 2024年9月 2日(月)～ 9月 6日(金)(学内含む) 2クール目： 2024年9月 9日(月)～ 9月13日(金)(学内含む) * 上記期間外に実習オリエンテーションあり</p> <p>2)実習内容 1日目(学内/臨地実習) (学内) 実習オリエンテーション (臨地実習) 実習施設の看護部長等からの講義 実習施設の見学 実習病棟オリエンテーション 担当教員：大出、石田、大森、辻、園山、角田(全員看護師)</p> <p>2日目(臨地実習) 看護場面の見学、コミュニケーションへの参加から看護の実際を学ぶ 担当教員：大出、石田、大森、辻、園山、角田(全員看護師)</p>

計画・内容	<p>3日目（臨地実習） 看護場面の見学、コミュニケーションへの参加を通して看護の役割や機能について考える 担当教員：大出、石田、大森、辻、園山、角田(全員看護師)</p> <p>4日目（臨地実習） 看護場面の見学、コミュニケーションへの参加を踏まえ、カンファレンス等で学びを深める 担当教員：大出、石田、大森、辻、園山、角田(全員看護師)</p> <p>5日目（学内） 実習記録の整理 実習自己評価 実習評価面接 担当教員：大出、石田、大森、辻、園山、角田(全員看護師)</p> <p>上記内容を実習要項に沿って行う。 * 実習要項はオリエンテーション時に配布する</p> <p>3)実習場所 済生会向島病院 三井記念病院 東京女子医大東医療センター 獨協医科大学埼玉医療センター 日本医科大学武蔵小杉病院</p> <p>* 学生配置は確定後オリエンテーションまたは掲示を通して周知する</p>
授業の進め方	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事前に履修した内容（療養環境や対象をどう理解するか、日常生活援助技術など）を復習して実習に臨む。 2. 実習施設の概要や看護部の方針などについてオリエンテーションを受ける。 3. 実習施設の各部門の構造・役割の説明を受けながら見学する。 4. 担当看護師・実習指導者、担当教員からの説明や共に治療、検査、看護場面の見学・参加などを通し、対象との直接的な体験を中心に学ぶ。 5. 対象とコミュニケーションを深める。 6. カンファレンスで学びを共有する。 7. 実習最終日は、実習の学びを整理し学びについて指導教員と面接し実習の自己評価を行う。
能動的な学びの実施	<p>臨地実習において、対象者ならびに実習指導者や教員との積極的な関わりが必要となる。 学生が主体となり、毎日のカンファレンスで学びの共有や今後の課題の明確化を行う。</p>
授業時間外の学修	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護学概論（病院の機能と役割、「看護覚え書」等について）、基礎看護技術 -1（環境整備、コミュニケーション、移乗・移送、バイタルサイン測定）等の既習学習の内容を復習しておく。 2. 実習進行計画に合わせて所定の記録用紙に記載する（毎回2～3時間程度）
教科書・参考書	<p>テキストの指定はないが、既習科目の学習内容、関連する文献を活用すること。 また、オリエンテーション時に配布する実習要項（看護学実習共通要項、基礎看護学実習 実習要項）を参照のこと。</p>
成績評価方法と基準	<p>単位認定と評価</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 認定要件 実習時間が充足され、かつ実習内容を満たした者に対して評価を行い単位認定する。 2) 評価 評価表に基づき以下の項目を総合して評価する。 病院見学を通して、病院の機能・役割を知る（12点） 対象の療養生活について理解する（12点）

成績評価方法と基準	<p>対象の人間関係を形成するためのコミュニケーションについて考える（12点） 対象者の反応や会話の中から対象の思いを知る（12点） 安全・安楽・自立（自律）をもとに、対象の個別性に配慮した看護援助の実際について考える（12点） 看護援助場面の見学および参加を通して、看護の役割や機能について考える（12点） 学習者として適切な行動ができる（12点） 事後学習課題レポート（16点） 詳細は配布する実習要項を参照すること。</p>
課題等に対するフィードバック	<p>臨地実習での課題に関しては、随時、その場でフィードバックしていく。</p>
オフィスアワー	<p>Campus Squareを参照</p>
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎看護学実習 を履修する学生は必ず実習前のオリエンテーションに参加すること。オリエンテーションの日程は掲示等で周知する。オリエンテーションに参加していない学生は原則として履修を認めない。 ・記録物やレポート等は期限内に提出すること。期限内に提出しない場合は、履修放棄の扱いとする。 ・筆記用具、メモ帳、教材や資料を入れるバッグを準備すること。また、実習要項や実習記録を閉じるA4版のファイルを準備すること（実習前のオリエンテーションで必要物品について伝えます）。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>COVID-19による感染状況により、臨地実習を中止せざるを得ない可能性もある。 その時は、動画視聴やオンラインによる講義やディスカッションを通じて代替とする。 評価方法は実習要項に準ずる。</p>